

癌化学療法輸液約束処方 大36

癌種 大腸癌 再発・切除不能（通院外来用）

レジメン名 大36 SIRB

薬品名（商品名）	一般名	略号	標準投与量	投与方法	投与経路	投与日	1コースの期間
ティ・エス・ワン	ギメラシル・オテラシル・テガフル	TS-1	80 mg/m ²	分2 朝・夕食後	PO	DAY 1(夕)～15(朝) または DAY1(朝)～14(夕)	21日間
イリノテカン	塩酸イリノテカン	CPT-11	150 mg/m ²	90分	CVポートor 末梢	DAY 1	
アバステン	ベバシズマブ	Bv	7.5 mg/kg	1コース目:90分 2コース目:60分 3コース目以降:30分	CVポートor 末梢	DAY 1	

※実施決定後より内服開始

DAY 1

【 CVポートor末梢 】

- ① NS 50ml / 5分
- ② NS 100ml + アバステン mg / 90分 (2コース目60分、3コース目以降30分)
- ③ NS 50ml + デキサート 1V / 5分
- ④ NS 50ml + アロキシ 1V / 5分
- ⑤ NS 500 ml + イリノテカン mg / 90分
- ⑥ NS 50ml / 5分

【コース開始基準】

白血球 3000/mm³以上
好中球 1500/mm³以上
血小板 10万/mm³以上
AST/ALT 100IU/L以下
T-Bil 1.5mg/dL以下
血清Cre 1.2mg/dL以下
感染 38℃以上の発熱なし
下痢・粘膜炎/口内炎、皮疹 Grade1以下

【TS-1の休薬基準】

好中球 1000未満
血小板数 7.5万未満
血清Cre 1.5mg/dL以上
感染 38℃以上の発熱
下痢 Grade 2以上

*注意事項

- ① TS-1はDAY 1の夕食後より内服開始する。

【備考】

- ① IRIS 療法は FIRIS試験より FOLFIRI と非劣性が証明されている。また他の試験結果から IRIS±BV と SIR±BV は効果面で同等と考えられる。
- ② 有害事象に関しては SIRB では全体的に少なめで、特に Grade 3 以上の下痢の発現頻度が低かった有用なレジメンである。

H28.1.18改訂

R5.9.11改訂